

お客さまの安全を守り、安心して快適な生活を支えるために

浸水対策

(区部下水道事業の取組例)

都市化の進展や集中豪雨の多発などにより、下水道が整備されている地域でも雨水排除能力が不足し、都市型水害が発生しています。浸水の危険性が高い地区に取組を重点化し、下水道管やポンプ所の能力増強、雨水の貯留施設の設置など、1時間50mmの降雨に対応する施設の整備を行い、浸水被害の軽減を図ります。

主要施策の目標と取組状況

※数値は到達年度までの累計です。

経営計画 2010 期間

2009 年度まで

2010(平成 22)年度～2012(平成 24)年度

それ以降

幹線など基幹施設の整備が完了した対策促進地区 2地区
地下街などを有し浸水に対する危険性の高い地区への対応数 3地区

新宿区新宿地区や杉並区阿佐谷南地区など、基幹施設の整備などが完了した対策促進地区数 9地区
東京駅八重洲口など、地下街などを有し浸水に対する危険性の高い地区への対応数 4地区

平成 29 (2017) 年度を目標に、浸水の危険性の高い対策促進地区 (20 地区) などにおいて、1時間 50mm の降雨に対応

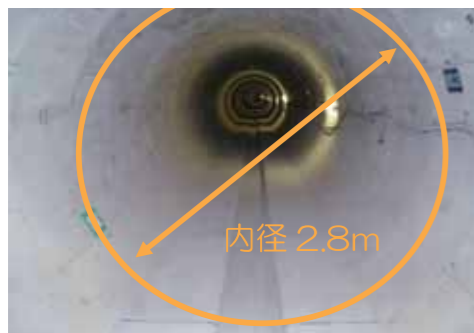
平成 23 年度の主な取組

- 杉並区阿佐谷南地区において、貯留管の整備が完了するなど、対策促進地区のうち3地区で対策を完了しました。
- 1時間50mmの降雨に対応する下水道施設の整備を429ha完了しました。

事業指標	単位	22年度末 累計	23年度 目標値	23年度 実績値	23年度末 累計	24年度末 累計目標値
1時間50mmの降雨に対応した対策促進地区数	地区	2	3	3	5	9
地下街などを有し浸水に対する危険性の高い地区への対応数	地区	4	0	0	4	4
1時間50mmの降雨に対応する下水道施設の整備が完了した面積	ha	34,923	460	429	35,352	35,300

<杉並区阿佐谷南地区の貯留管>

※主な実施箇所について21ページに掲載しています。



- 対策促進地区の一つである杉並区阿佐谷南地区において、貯留量約2,400 m³ (小学校の25mプールの約8杯分) の貯留管の整備が完了しました。

事業効果

- 1時間50mmの降雨に対応する幹線やポンプ所などの整備を進め、雨水排除能力を向上させ、浸水被害の軽減を図ります。

事業効果	単位	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	23年度末 (実績)	24年度末 (計画)
浸水対策整備率*	%	60	62	63	63

※下水の処理区域全体のうち、1時間50mmの降雨に対応する施設の整備が完了した面積の割合

下水道局の評価

- くぼ地、坂下など浸水の危険性が高い対策促進地区において、引き続き施設の能力増強や貯留施設の設置などに重点的に取り組み、概ね計画どおりに整備を進めました。
- 1時間50mmの降雨に対応する下水道施設の整備に積極的に取り組んだ結果、1年前倒して浸水対策整備率の計画目標を達成しています。今後とも、地域特性を踏まえた効果的な浸水対策を推進し、浸水被害の早期軽減を図ります。